

あしたのあさひ

～ P T ア ク シ ョ ン と 校 長 室 を つ な ぐ ～



県立旭高等学校長 古谷康司



オリンピック中継に熱中し、あっという間に夏休みが過ぎてしまいました。4年後は、旭高校の生徒や卒業生、さらに保護者の方々が、活躍されていることを楽しみにしています。選手として参加できるなら最高に盛り上がるでしょうね。コーチや運営スタッフ、さらに国際都市横浜の地にある高校として、通訳や観光ガイドなど、貴重な経験できる絶好の機会です。

そのためには、これまでの、そしてこれからの取組が大切です。



旭高校では、常にひとつ上を目指し、金メダルを狙う意欲的な人を育てたい。また、様々なボランティア活動等を通し、信頼されるリーダーになってほしいなど、すでにいろいろな働きかけをしています。

オリンピックで改めて感じたように、国際社会で活躍できるグローバルな人材が必要ですが、今の旭高校は、英語を苦手とする人が多く、国際交流という視点がありません。しかし、あいさつをし、相手の思いを感じ、自分の考えを伝えることは、学んでいます。外国の人と、理解し合いたい気持ちで学べば、コミュニケーション能力や言語能力がより高まると思います。

校長として、本校の未来に向け、様々な機会を用意するつもりです。

今、韓国の日本語を学んでいる高校生が、日本の高校生と会話がしたいという話があります。この機会を生かし、あいさつから始め、いつの日か、日本語、韓国語、英語で会話している姿を想像します。

8月18日に行われた学校説明会に、多くの中学生が参加してくれました。生徒が企画し、生徒自らが運営する説明会であり、当日の生徒会の生徒の素晴らしい振る舞いで、学校の雰囲気が高く理解してもらえました。2年連続して参加者が増えており、今の生徒の活躍が中学校や地域に広く伝わっているおかげだと思えます。

もちろんPTアクションも大切なひとつです。ありがとうございます。